

もろびとこぞりて

もろびとこぞりていざむかえよ - ひさしく - まちに - し 主
へいわのきみなるみこをむかえ - われらの - すくい - と ほ

はきませり 主はきませり 主は - 主は - きませり
めたたえよ ほめたたえよ ほめ - ほめ - たたえよ

聞け、天使の歌

聞けてんしのうた「み子にはえいこう、地にはへいわあれ世のひとびとに」。
ひかりをもたらし義のたいようよ、すくいとちからとへいわのきみよ。

ダビデのむらに - うまれしみ子を - せかいはのたまよ、
死すべきひとを - 生かすためにと - しみ子は生まれぬ、

とも - にあがめて きけよろこびのおと - ずれのうた。
まぶ - ねのなかに。

いそぎ来たれ、主にある民

いそぎきたれ主にあるたみ、み子のうまれしベツレヘム。うたえいわえて
としえなるかみのことば、にくとなりにしこのよき日。むかえまつれ、ひ

んしらとともにきたりておがめ、きたりておがめ、きたりておがめ、いざともに
となる主イエスを。